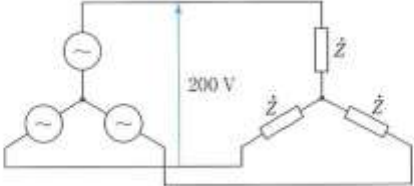


学 習 指 導 案

日時	令和3年 月 日() 第1限	指導クラス	電子科2年 組	指導者	〇〇 〇〇
教科(科目)	工業(電気基礎)	単元名	第6章 三相交流		
教科書	電気基礎 下(コロナ社)	副教材	電気基礎(下)トレーニングノート		
本時の主題	第6章 三相交流 6.1 三相交流回路 Y-Y結線の電圧と電流				
本時の目標	三相交流回路(Y-Y結線)の電圧と電流の関係を理解し、各種電圧や電流の計算をすることができる。				
学習活動に即した評価規準	知識・技能(A)	思考・判断・表現(B)	主体的に学習に取り組む態度(C)		
	三相交流回路の公式を活用し、計算をすることができる。		三相交流回路に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。		
時間	ねらい	学 習 活 動 (・教師の活動 ○生徒の活動)		評価規準	評価方法
【導入】 10分	前時の復習 本時の目標を確認	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した範囲を投影し、説明する。 ・本時の目標を板書する。 ○本時の目標をノートに記入する。 		C	ノート
【展開】 35分	例題2 (P54)	<ul style="list-style-type: none"> ・例題2を細かく分け、生徒に提示をする。 		C	学習活動の行動観察
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例題 2</p> <p>図6.13の回路において、線間電圧が200Vで、負荷の各相のインピーダンスが $Z = 16 + j12$ [Ω] であるとき、相電圧と相電流の大きさを求め、ベクトル図を描きなさい。</p>  </div>		A	ノート
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>短い時間に分けて1つずつ問題に取り組む。 上記例題の場合は次のように行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶相電圧を求める ▶インピーダンスの大きさを求める ▶位相差φを求める ▶相電流を求める </div>			
		○問の一つずつを「考える」「教え合う」を繰り返す。 (「考える」2分、「教え合う」1分)		C	学習活動の行動観察
	問3、問4 (P55)	<ul style="list-style-type: none"> ・例題と同様に問題を細かく分け、生徒に提示 ○例題と同様に「考える」「教え合う」を繰り返す。 		A	ノート
【まとめ】 5分	本時の確認 次回への発展	<ul style="list-style-type: none"> ○隣同士、本時に学んだことを話し合う ・本時学んだことが次にどう応用できるか説明 		C	学習活動の行動観察